

令和 6 年度横浜市栄区生活支援センター事業報告

栄区の高齢化に伴い区内地域ケアプラザとの窓口を担当職員制とし、地域の精神障害者を抱える家族の状況を把握する為、各地域ケアプラザとの定例会を実施。地域の中では生活支援センターに来れない方もいる為、地域ケアプラザにて出前相談を実施し、今年度全19件相談件数があり、昨年度より件数が増えてきている。又、区役所・地域ケアプラザからの相談依頼で、年々少しずつ増えてきている「親なき後から一人暮らしになるケース」の相談等が増え、生活支援センターの支援（生活相談・日中の居場所・活動の場の提供・食事サービス、訪問、通院同行、自立生活アシスタント等）に繋げることができた。特に単身者の食事サービスの利用数は増えてきている。区福祉保健センター、基幹相談支援センター、地域ケアプラザなど各関係機関との協働体制を強化し、地域において自立支援協議会精神部会（精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム）の場で地域課題、多職種連携を意識して取り組み、地域のニーズに対する相談と困難ケースの受入れやアウトリーチ支援体制を作り、生活支援センターが精神保健福祉の中核的な役割を担い、精神障害者や家族が地域で安心安全に生活できるよう課題の抽出と解決に向け取り組みました。

■ 事業内容

- 1 開所日数 : 311 日
- 2 登録者数 : 1,386 名 (男性 800 人、女性 586 人)
- 3 来館者数 : 6,852 名
- 4 事業実施状況
 - (1) 本体事業
 - ア. 日常生活支援
電話相談 5,106 件、 面接 715 件、 フリースペース対応 1,175 件
訪問・同行 190 件、 その他 26 件
 - イ. 有料サービス
夕食サービス 2,974 名、 入浴サービス 389 名、 洗濯サービス 244 名、
インターネット 38 名
 - ウ. 嘱託医相談
相談回数 12 回 相談者 30 名
 - エ. カウンセラー相談
相談回数 12 回 相談者 21 名
 - オ. 自主事業
* 定例事業
利用者ミーティング (12 回 : 103 名)、
姫の会 (3 回 : 31 名)、リカバリー講座 (5 回 : 29 名)、昼カラ (10 回 : 48 名)
スポーツレク (2 回 : 15 名)、就労座談会 (1 回 : 7 名)、かいがーず (4 回 : 25 名)
* その他イベント等
初詣 (13 名)、プチサマーフェスティバル (31 名)、かき氷大会 (15 名)
クリスマス会 (32 名)、お花見ランチ (12 名)、いたちまつり (600 名)、
バラエティー卓球 (6 名)、栄区民まつり (13 名)

カ. 普及啓発活動

生活支援センター及び精神障害への理解に対する関係機関・団体向けの勉強会と説明会を実施。野七里地域ケアプラザ職員向け勉強会、中野地域ケアプラザエリアの民生委員向けと野七里地域ケアプラザエリアのケアマネージャー向けに生活支援センターの紹介・障害理解に関する勉強会を生活支援センター職員が講師として実施した。

又、後見的支援制度あんしんマネージャー研修において、生活支援センターの紹介や機能など、地域に果たす役割について講義した。

キ. その他

- ・区内地域ケアプラザとの定例会を実施。区内地域ケアプラザに対し相談担当職員を配置し、精神障害者に関わる家族の相談、情報共有、支援方法等場を設けるとともに、7ヶ所中 5ヶ所であるが相談場所をセンター外の地域ケアプラザで出張相談を実施し19件の相談を受け、8ケースをセンターに繋げることができた。
- ・令和6年度は、家族会・区役所・生活支援センター共催の精神科家族教室を実施。講師に招き、一般家族の方向けに「家族が学ぶ精神科のおもな病気と対応について」を実施し18名参加された。
- ・中野地域ケアプラザエリア民生委員向け(6年11月)と野七里地域ケアプラザエリアのケアマネージャー向け(7年2月)に生活支援センターの紹介・障害理解に関する勉強会を生活支援センターが講師として実施した。

(2) 自立生活アシスタント事業／自立生活援助事業

地域において単身で生活する精神障害者（自立生活アシスタント事業該当者）の方々の安定した生活を維持出来るよう支援しました。支援に当たっては、専任職員だけでなく支援内容によっては他の職員及び関係機関との連携、協力のもと事業の充実を図ります。センター内で自立生活アシスタントチームとして2ヶ月に1回のミーティングを実施、利用状況・目的・ケース問題を共有し、問題解決に向けて話し合いをしている。自立生活アシスタント利用終了者については利用者及び関係機関と相談の上、センター本体事業へと繋ぎ、引き続きご本人様が相談できるよう対応した。

尚、自立生活援助事業については、区役所と連携し実施について検討しているが、今年度利用者はいなかった。

○支援内容

- 1 金銭管理（計画性の指導・助言・管理）・・・あんしんセンターとの連携
- 2 衣食住支援・・・ヘルパー事業所との連携
- 3 コミュニケーション支援
- 4 健康管理、服薬指導及び管理・・・訪問看護、病院との連携
- 5 住環境整備（部屋の片づけ、引越しの援助、）・・・ヘルパー事業所、不動産業者との連携
- 6 生活のリズム作り
- 7 精神の安定
- 8 定期的訪問（生活状況の把握、精神的安定）
- 9 その他日常生活における問題の相談

○登録者数 10名 （相談中 3名、 終了者 6名）

(3) 退院サポート事業／地域移行・地域定着支援事業

令和6年度は精神科病院より退院サポート事業の利用依頼が徐々に増え、病院内での

面談や外出支援の実施など増加してきた。病院との協働活動は、今後どのように進めて行くか協議中である。地域移行・定着事業も新規の相談依頼は滞っているのが現状である為、今後も積極的に医療機関との関係性を強化し、退院可能な方への依頼が増えるよう努めたい。

○支援者数 6名（相談中 1名、退院後フォロー 2名）

（４） 計画相談事業（指定特定相談支援事業及び指定一般相談支援事業）

- ・区役所障害者支援担当と連携し、障害福祉サービスを利用する利用者の方々を対象に適切な社会資源の活用及び関係機関との連携を行い、利用者が安心して日常生活を過ごせるよう支援しました。
- ・区内精神障害者対象の計画相談事業所が少ないため、区内の事業所４ヶ所、区外で栄区をエリアとしている近隣区の事業所２ヶ所と集まり「栄区計画相談連絡会」を実施、情報共有、ケース共有・検討など定期的な打合せを行っている。

○総件数 28件（特定相談件数 26件） 相談中 2件

（５） 防災訓練

- ・小菅ヶ谷地域ケアプラザと共同で消防避難訓練を第１回令和６年１０月３日、第２回令和７年３月１１日、共に地震発生に伴う施設内の火災発生を想定し実施する。又、両職員による避難経路確認及び消火設備確認を行った。
- ・福祉避難所開設訓練
令和７年３月１１日小菅ヶ谷地域ケアプラザと共同。受け入れ訓練を実施し近隣住民の訓練参加者に要援護者役となっていた。職員で簡易式ポータブルトイレを組み立て、参加者で凝固剤を使用し確認した。

■法人及び関係機関等会議及び行事 等

（１）横浜市、栄区関係

- ・横浜市生活支援センター施設長会議・実務者会議、三機関合同連絡会、地区支援チーム会議、成年後見サポートネット会議、アウトリーチ支援会議、自殺予防対策分科会、福祉避難場所連絡会、栄区地域自立支援協議会、精神部会・相談支援部会、三機関定例カンファレンス、各地域ケアプラザ定例会、栄区精神保健福祉業務連絡会、とんぼ（後見的支援制度）定例会、自殺対策キャンペーン、栄区ネットワーク会議、豊田地区障害児者連絡会（COCOMIMI）、栄区民祭り、新年祝賀会、各種研修会、

（２）区社会福祉協議会・地域自治会・事業所等

- ・生活支援センター連絡会、南部若者支援連絡会、さかえ会（家族会）、家族教室、サポートセンター経運営委員会、みちくさみち理事会、こだちの会運営委員会、小菅ヶ谷ケアプラザ運営委員会、小菅ヶ谷つながるプラン全体会・分科会、移動情報センター推進会議、後見的支援室とんぼ報告会、栄区・戸塚区社協つながるフェスタ、地域ケア会議、栄区社会福祉大会、さかえ福祉フェスタ、小菅ヶ谷地域敬老会、区社協専門機関部会障害者支援分科会、障害者週間キャンペーン、すぱーすもも虐待防止・身体拘束等適正化委員会

（３）市精連関係

- ・市精連研修会

(4) 法人関係

- ・法人理事会、評議員会、所長会議
- ・研修委員会、広報委員会、虐待防止等対策委員会、感染症対策委員会
- ・法人全体研修、法人研修、階層別研修

■ 研修会参加

(1) 外部研修

- ・支援、援助技術関係（12回）、
- ・医療、薬関係（4回）、
- ・災害関係（1回）、
- ・メンタル、リスク関係（2回）、
- ・その他、一般関係（2回）
- ・センター連絡会新任研修（2回）

(2) 法人関係

- ・法人研修（12回）

■ 実習生受け入れ

- (1) 精神保健福祉士関係実習 : 7名
- (2) 看護関係 : 58名
- (3) その他 : 0名

以上

令和6年度 栄区精神障害者生活支援センター収支決算書
(総括版)

自令和6年4月1日 至令和7年3月31日

(単位:円)

科目	予算額	決算額	決算額のうち 法人負担金額	差 額	備 考
I 収入の部					
1 指定管理料収入(当初)	85,680,000	85,680,000		0	
2 指定管理料収入(変更)				0	
3 法人負担金	361,000	361,000		0	法人負担で常勤化
4 相談支援事業に要した交通費収入				0	
5 自立支援給付費収入				0	
6 食事サービス収入				0	
7 入浴・洗濯・インターネットサービス収入				0	
8 その他の実費収入など(横浜市障害福祉施設等物価高騰対策支援金等)				0	
収入合計	86,041,000	86,041,000		0	

Ⅱ 支出の部							
戻入 精算	1	人件費	65,681,000	56,759,379	0	8,921,621	
		所長					
		常勤職員					常勤職員5名
		非常勤職員	14,117,000	11,290,913		2,826,087	非常勤職員4名(法人負担で常勤化)
		アルバイト	4,350,000	5,076,342		▲ 726,342	アルバイト3名
		調理アルバイト	2,853,000	4,113,327		▲ 1,260,327	調理職員6名
		嘱託医賃金	989,000	400,786		588,214	嘱託医3回/月 カウンセラー1回/月
		法定福利費	7,064,000	6,973,631		90,369	健康保険・厚生年金他
		退職金給与引当金	1,008,000	827,480		180,520	中退金
		福利厚生費	170,000	140,721		29,279	健康診断・インフルエンザ他
		労務厚生費	60,000	58,000		2,000	ハマフレンド
		2	施設管理費	7,700,000	7,104,327	0	595,673
		光熱水費	4,300,000	3,534,689		765,311	電気・ガス・水道
		庁舎管理費	3,500,000	3,643,958		▲ 143,958	施設管理・清掃他
		利用者負担金充当金	▲100,000	▲74,320		▲25,680	(入浴・洗濯・インターネット収入から)
	3	運営費	6,900,000	5,807,941	0	1,092,059	
		旅費	300,000	326,788		▲ 26,788	旅費交通費
		消耗品費	600,000	544,083		55,917	事務用品他
		印刷製本費	200,000	178,276		21,724	チラシ作成他
		修繕費	1,000,000	375,700		624,300	自動ドア・空調修繕他
		通信運搬費	1,100,000	940,880		159,120	電話・ネット・切手他
		賃借料	1,900,000	1,889,245		10,755	車両・PC・コピー機他リース
		備品等購入費	400,000	317,900		82,100	防災・感染症対策備蓄品他
		保険料	300,000	346,800		▲ 46,800	施設賠償保険
		雑費	1,100,000	888,269		211,731	研修費、会費、HP改修費、その他
	4	本部繰入金	5,760,000	5,280,000		480,000	
	5	食事サービス費の支出		1,419,489		▲ 1,419,489	
	6	その他の実費からの支出				0	
支出合計			86,041,000	76,371,136	0	9,669,864	

III 戻入の部					
人件費戻入精算分		8,921,621			
戻入合計		8,921,621			